

教職員共済生活協同組合・東京都民共済生活協同組合・全国労働者共済生活協同組合連合会助成事業

ユニバーサル社会推進に向けた
障害者の日常生活・社会参加の現状
における調査事業
報 告 書

社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

ユニバーサル社会推進に向けた障害者の日常生活・社会参加の現状における調査事業

報告書

1. 目的

障害者の1週間の生活を追いながら、社会生活におけるバリアを把握し、解消（あるいは改善）にむけた提言を社会に発信することで、障害理解に対する国民的な意識啓発を図ることを目的に事業を行いました。

2. 概要

(1) DVDの作成

タイトル：どう変える あなたの暮らしとまちづくり

内容：障害者の暮らしを通し、街のなかにある普段気がつかなかったバリアへの気づきと、本人の工夫によってバリアを解消している事例等について聞き取り取材し収録。

※本DVDを上映したセミナーでの発言を加え、合理的配慮の提供について、さらに理解が深まるよう編集した。

取材協力者： 日身連加盟団体（神奈川県身体障害者連合会、東京都身体障害者団体連合会関係者）及び障害団体関係者の方々
・車いす、両松葉杖、杖使用者の方々にご協力いただきました。

上映時間：21分（字幕及び解説放送付）

(2) セミナーの実施

日時：平成27年12月10日（木）

会場：衆議院第一議員会館会議室

タイトル：日身連セミナー

障害者差別解消法施行を前に

どう変える あなたの暮らしとまちづくり

内容：参考資料のとおり

参加者：障害当事者、障害関係団体職員、行政機関、事業者等約200人

参加費：無料

プログラム

日身連セミナー

障害者差別解消法施行を前に

どう変える あなたの暮らしとまちづくり

2015年12月10日(木)12時30分～16時

衆議院第一議員会館 多目的ホール

総合司会 飯塚 善明 企画実行委員会委員

12:30 開 会

主催者あいさつ

松井 逸朗 (福)日本身体障害者団体連合会会長

来賓あいさつ

藤井 康弘 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部部長

メッセージ

障害者差別解消法成立に取り組まれた国会議員の先生方

13:15 調査報告 映像でつづる“障害者の暮らし バリアフリーな暮らし”

13:35 地方自治体の取組事例 東京都におけるヘルプマークの推進

篠 和子 東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課課長代理

13:45 休 憩

13:55 シンポジウム 「これでわかる！ 合理的配慮」

シポジスト 大濱 眞 (公社)全国脊髄損傷者連合会副代表理事

尾上 浩二 内閣府障害者制度改革担当室政策企画調査官

戸井田 愛子 (公財)神奈川県身体障害者連合会会長

中南 久志 (公財)東京リビッック・パ・リビッック競技大会組織委員会

大会準備運営局パ・リビッック統括部部長

コーディネーター 阿部 一彦 (福)仙台市障害者福祉協会会長

16:00 閉 会